

## ！雨量に注意

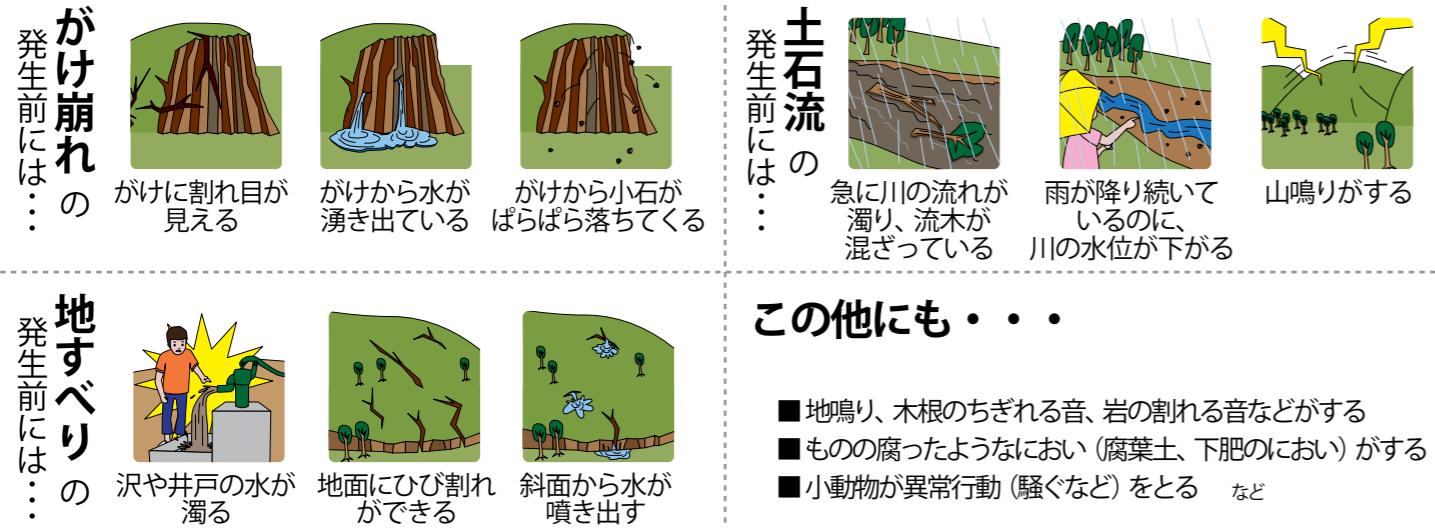
気象予報などを見ると、雨量にも気を配る習慣をつけましょう。自宅周辺の雨量を測ることで、自宅周辺の土砂災害の危険の高まりを把握しやすくなります。

右図の雨量が土砂災害発生の危険が高まる目安とされています。

高さ10cmのカップ酒の瓶を使うと風で倒れにくく便利です



## ！前ぶれ（前兆現象）にも注意



## ！災害情報を積極的に収集

テレビ・ラジオ  
※テレビのデータ放送は下記参照



市や気象庁のホームページ



緊急速報メール  
(エアーメール)



いわて  
モバイルメール  
※QRコードから登録できます



防災行政無線・広報車・  
防災釜石広報 ☎ 0800-8003199  
※防災行政無線の放送内容を電話で確認できます



自主防災組織  
(町内会)



家族、ご近所、  
お知り合いに聞くのも  
立派な情報収集！！

データ放送での確認方法 地デジテレビでNHK(地デジ1ch)を選択し、リモコンの「d」ボタンを選択

### ① 防災・生活情報を選択



(テレビ画面イメージ図)

### ② 確認したい情報を選択



(テレビ画面イメージ図)

### ③ 河川の水位・雨量を確認



(テレビ画面イメージ図)

## 最終確認用

# 浜町3丁目町内会 洪水・土砂災害 ハザードマップ

津波ハザードマップではありません

洪水時や土砂災害時は、住民が雨の量や周辺の様子に注意し、地域で避難開始を判断することが重要です。そのため、以下の項目を実践しましょう。

## 1 日頃から住民全員がやっておくこと

- 地域の避難箇所、避難経路を確認
- 雨量に気を配る



『洪水・土砂災害ハザードマップ』(中面)  
を確認！

\*地震・津波災害時の避難箇所とは異なります

## 2 雨が降り始めたら…

- テレビなどで情報を収集(裏表紙を参照)
- 各自分で雨量を計測(裏表紙を参照)



土砂災害発生の危険が高まる目安は、  
1時間雨量20mm、連続雨量100mmの雨といわれています

## 3 災害が起こりそうだと感じたら、早めに避難

### 「災害が起こりそうだ」と判断する目安となる情報

釜石市役所から発表される避難情報が1つの目安になります。ただし、急な大雨など、状況によっては避難情報が災害発生前に発令されるとは限りません。

そのほか、いつもと違う大雨や、大雨で起きた普段見られない現象(裏表紙を参照)も、避難を判断する目安となる情報です。

避難情報	とるべき行動	警戒レベル
緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！	レベル5
避難指示	危険な場所から全員避難	レベル4
高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難	レベル3

5では手遅れ。  
4までに  
危険な場所から  
必ず避難!!

### いざというときの避難対応 「早めの避難」が重要！避難に時間のかかる方は早めの行動が必要です//

台風や深夜の大雨が事前に予測される場合

安全な場所にある  
親戚・知人宅 / 緊急避難場所※  
※洪水・土砂災害ハザードマップ(中面)参照へ避難

遠くまでの避難が困難な場合や  
移動に危険が伴う場合  
(すでに道路が冠水など)

がけや沢から少しでも離れた  
頑丈な建物の2階以上  
へ避難

状況によっては  
自宅待機が最も安全な場合もあります



※このハザードマップは、令和3年11月～令和4年2月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて作成したものです。

# 洪水・土砂災害ハザードマップ

## 浜町3丁目町内会

現在の技術では正確な雨量予測や災害発生地の特定が難しいため、避難指示等に依存しそすぎず、**地域住民自らで危険に気づき、いざというときに避難の判断につなげる**ことが大切です。

### 住民懇談会で把握した情報

#### 洪水・土砂災害緊急避難場所

- 大雨が降ると確認されるいつもと違う現象
- 過去に発生した災害
- その他の事柄

#### 土砂災害の危険性

(岩手県砂防基礎調査結果に基づく)

##### 土砂災害特別警戒区域

(土砂災害が起きた場合に、被害を受ける危険性が特に高い区域)

##### 土砂災害警戒区域

(土砂災害が起きた場合に、被害を受ける危険性が高い区域)  
<急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)>

##### 土砂災害警戒区域

(土砂災害が起きた場合に、被害を受ける危険性が高い区域)  
<土石流>

※破線は、指定準備中の区域

#### 洪水ハザードマップ

(甲子川浸水想定区域図(令和元年)に基づく)

⚠ 津波ハザードマップではありません

